

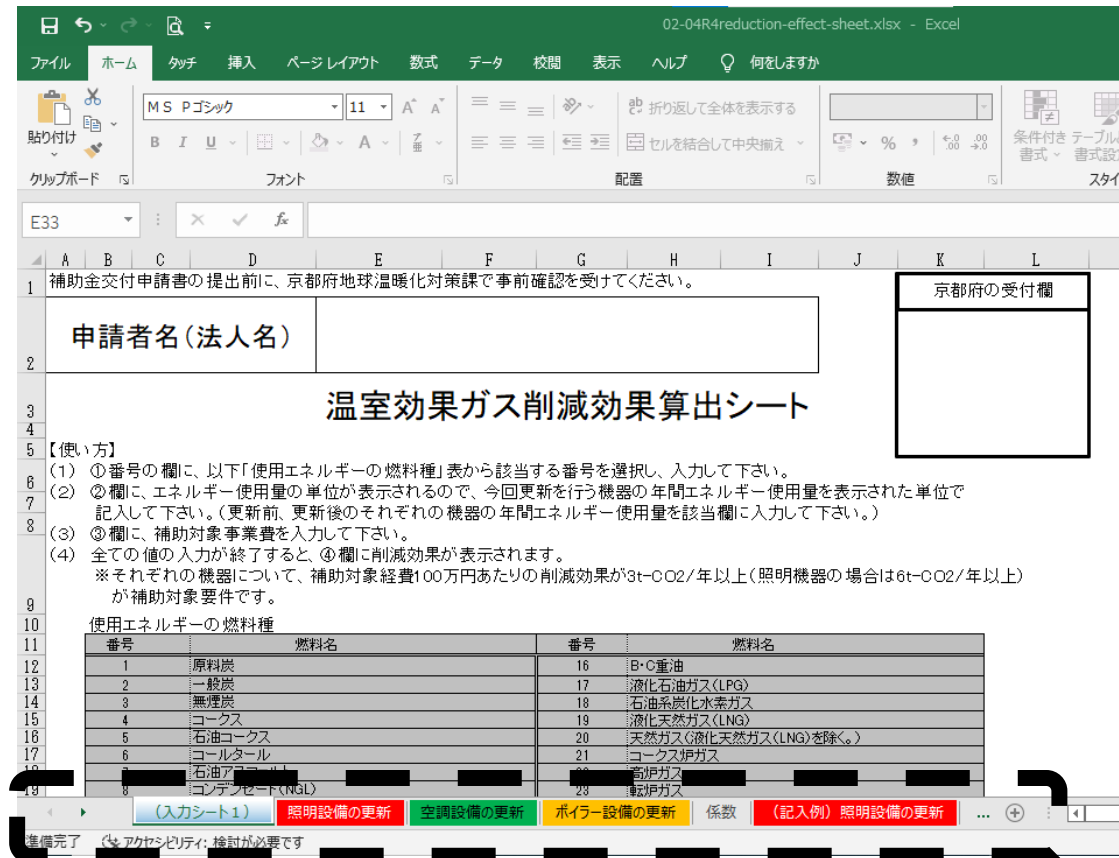
# 令和4年度 京一VER創出促進事業補助金

## 温室効果ガス削減効果算出シートの計算方法

### 【照明】

【step1】まずは2枚のシートを活用し、  
 下記補助要件を満たすかどうか確認する。  
 補助対象経費100万円あたりの温室効果ガス  
 排出量の削減効果が、6 t-CO<sub>2</sub>/年以上

- 1) 照明設備の更新に伴うデータ入力シート  
p.3-4
- 2) 温室効果ガス削減効果算出シート  
p.5-8
- 3) その他  
p.9

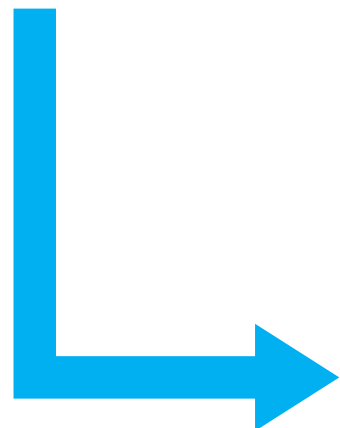


8	コンデンサート(NGL)	28	転炉ガス			
	(入力シート1)	照明設備の更新	空調設備の更新	ボイラー設備の更新	係数	(記入例) 照明設備の更新

2) の  
シート

1) の  
シート

# 1) 照明設備の更新に伴うデータ入力シート



照明設備の更新に伴うデータ入力シート

■色のシートに必要項目を入力してください

消費電力算出・比較表

施設番号	照明日数 (日/年)	照明時間		毎照明時間 (h/日)	毎照明時間 (h/年)	更新前			更新後			消費電力差 (kWh/年)		
		開始	終了			型式	消費電力 (W)	本数	消費電力 (kWh/年)	型式	消費電力 (W)		本数	消費電力 (kWh/年)
1	240	9:00	17:00	8	1920	従来照明の型式	600	10	9600	LEDの型式	100	10	920	1620
2	300	10:00	16:00	6	1800	従来照明の型式	600	40	36000	LEDの型式	200	40	14400	21600
3					0				0				0	0
4					0				0				0	0
6					0				0				0	0
6					0				0				0	0
7					0				0				0	0
8					0				0				0	0
9					0				0				0	0
10					0				0				0	0
11					0				0				0	0
12					0				0				0	0
13					0				0				0	0
14					0				0				0	0
15					0				0				0	0
									※ 46500				※ 16520	29920

※更新前・更新後の消費電力の合計を、入力シート1のエネルギー消費量にそれぞれ入力してください

**【注意】**  
LED照明に更新する際、安定器の取り外しや配線の変更等の工事を伴わないものは、省エネルギー（LED照明）の導入に当たり、補助対象外となります。

消費電力算出・比較表

例) 設置場所	使用日数 (日/年)	使用時間		総使用時間 (h/年)	更新前			更新後			消費電力量差 (kWh/年)			
		〇〇:〇〇	~ 〇〇:〇〇 (h/日)		型番	消費電 (W)	本数	消費電力量 (kWh/年)	型番	消費電 (W)		本数	消費電力量 (kWh/年)	
1 オフィス	240	9:00	~ 17:00	8	1920	現在使用の型番	500	10	9600	LEDの型番	100	10	1920	7680
2 工場棟 1階A棟	300	10:00	~ 18:00	6	1800	現在使用の型番	500	40	36000	LEDの型番	200	40	14400	21600
3			~		0				0				0	0
4			~		0				0				0	0
15	}}		~		0	}}			0	}}			0	0
								*	45600			*	16320	29280



1



2

① 記入枠を記入すると、更新前 1・更新後 2 が自動的に計算されます

② 更新前 1、更新後 2 の数字を、p 5 以降の 2) 温室効果ガス削減効果算出シートへ記入します



- ① 番号の欄に、「使用エネルギーの燃料種」表から該当する番号を選択する

使用エネルギーの燃料種

番号	燃料名	番号	燃料名
1	原料炭	16	B・C重油
2	一般炭	17	液化石油ガス(LPG)
3	無煙炭	18	石油系炭化水素ガス
4	コークス	19	液化天然ガス(LNG)
5	石油コークス	20	天然ガス(液化天然ガス(LNG)を除く。)
6	コールタール	21	コークス炉ガス
7	石油アスファルト	22	高炉ガス
8	コンデンセート(NGL)	23	転炉ガス
9	原油(コンデンセート(NGL)を除く。)	24	都市ガス
10	ガソリン	25	電力
11	ナフサ	100	その他固体燃料
12	ジェット燃料油	101	その他液体燃料
13	灯油	102	その他気体燃料
14	軽油		
15	A重油		

※100～103を使用する場合には、シート「係数」の対応箇所に標準発熱量と炭素排出係数を追記し、根拠資料を添付下さい。

温室効果ガス排出量の算定

○更新前

NO.	設備	番号	燃料の名称	エネルギー使用量	標準発熱量	炭素排出係数	CO2排出量
1	照明						(tCO2/年)
2							(tCO2/年)
3							(tCO2/年)
						小計	0.0 (tCO2/年)

↓ 番号「25」の場合

○更新前

NO.	設備	番号	燃料の名称	エネルギー使用量	標準発熱量	炭素排出係数	CO2排出量
1	照明	25	電力	(kWh/年)	0.0036 (GJ/kWh)	0.000159 (tC/kWh)	0.0 (tCO2/年)
2							(tCO2/年)
3							(tCO2/年)
						小計	0.0 (tCO2/年)

…記入枠

○更新前							
NO.	設備	番号	燃料の名称	エネルギー使用量	標準発熱量	炭素排出係数	CO2排出量
1	照明	25	電力	45,600 (kWh/年)	0.0036 (GJ/kWh)	0.000159 (tC/kWh)	26.5 (tCO2/年)
2							(tCO2/年)
3							(tCO2/年)
						小計	26.5 (tCO2/年)

1

○更新後							
NO.	設備	番号	燃料の名称	エネルギー使用量	標準発熱量	炭素排出係数	CO2排出量
1	照明	25	電力	16,320 (kWh/年)	0.0036 (GJ/kWh)	0.000159 (tC/kWh)	9.6 (tCO2/年)
2							(tCO2/年)
3							(tCO2/年)
						小計	9.6 (tCO2/年)

2

② 温室効果ガス排出量の算定表に [照明設備の更新に伴うデータ入力シート(p.4)]の数字を記入  
設備【照明】

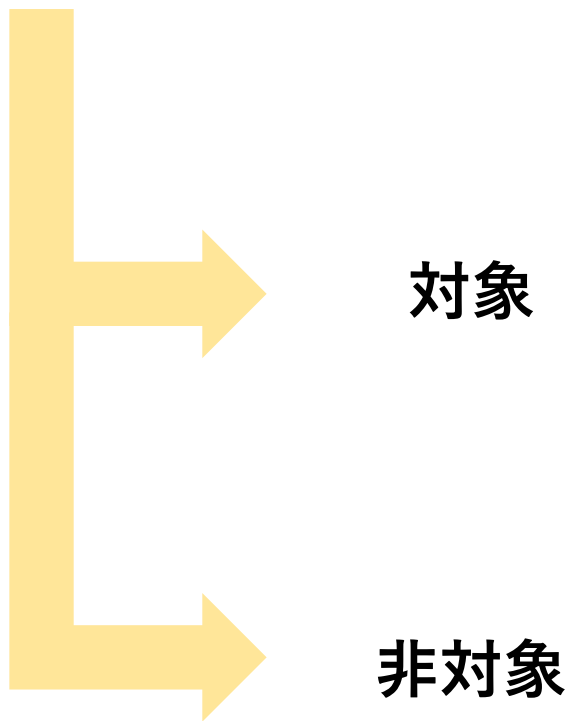
エネルギー使用量：更新前…①

更新後…② の欄にそれぞれ記入する

…記入枠

③補助対象事業費金額入力(税抜)

照明に対する補助対象事業費	1,500,000 円
空調に対する補助対象事業費	円
ボイラー・その他に対する補助対象事業費	円
合計	1,500,000 円



照明に対する削減量	16.9 (tCO2/年)
100万円当たりの削減効果	11.2 (tCO2/年)
空調に対する削減量	0.0 (tCO2/年)
100万円当たりの削減効果	#DIV/0! (tCO2/年)
ボイラー・その他に対する削減量	0.0 (tCO2/年)
100万円当たりの削減効果	#DIV/0! (tCO2/年)

照明に対する削減量	9.0 (tCO2/年)
100万円当たりの削減効果	補助要件I (tCO2/年)
空調に対する削減量	0.0 (tCO2/年)
100万円当たりの削減効果	#DIV/0! (tCO2/年)
ボイラー・その他に対する削減量	0.0 (tCO2/年)
100万円当たりの削減効果	#DIV/0! (tCO2/年)

④赤枠内確認

補助対象 : 数字が表示

補助非対象 : 補助要件に合致しない が表示



【step2】 シートを活用し、  
補助要件を満たしていた場合には、  
下記記入例シート等を参考にながら、  
シートを完成させる。

### 【記入例】 照明設備の更新に伴うデータ入力シート

8	コンデンサ(NGL)	23	転炉ガス		
(入力シート1)	照明設備の更新	空調設備の更新	ボイラー設備の更新	係数	(記入例) 照明設備の更新

記入例の  
シート